

SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 18

2012.11.14 (No.2709)

第2560地区ガバナー／鈴木重幸
会長／杉山幸英
会長エレクト／丸山行彦(クラブ奉仕A)
副会長／高橋司(クラブ奉仕B)
幹事／若槻八十彦
S A A／西山徳芳
会計／小出子恵出

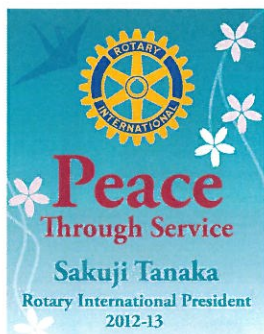
例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:54名中38名
- 先々週出席率:78.00%

【先週のメイクアップ】

[11.8] 燕RCへ
・荻根澤隆雄さん、加藤紋次郎さん



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ

「富士山」



山田富義 会員より

会長挨拶

杉山幸英 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。
お取越も終わり、悪天候の日が多くなり
だんだん冬に近づいて来ています。日暮れ
も早く荒れた日は5時前に暗くなります。
屋外での仕事の方は大変と思います。
昔の方はこの地域では冬至10日前が一番
日が短いと言っておられました。

ちなみに本年は12月21日が冬至です。

本日は会員卓話で関川博さんです。関川さん卓話を宜しく
お願い致します。

挨拶を終わります。

幹事報告

若槻八十彦 幹事

◎柏崎RCより

「創立60周年記念式典ご臨席の御礼」

◎11月17日(土)～18日(日)は、「地区大会」です。

ご出席の皆様よろしくお願ひ致します。

ニコニコBOX

杉山幸英さん

本日良いことがありました。ホッとしております。

関川会員、卓話楽しみにしております。

川瀬康裕さん

しばらく欠席が続きました。またよろしくお願ひ致します。

熊倉昌平さん

若槻幹事さんの三条市表彰、おめでとうございました。

関川 博会員の卓話に期待しております。

平原信行さん

久し振りの例会。ご心配かけて申しわけございません。

前回のロータリー寄席、楽しませていただきました。

今日は所用の為、早退致します。卓話聞けなくて申しわけございません。

関川 博さん

やっと卓話の順番が来ました。良い話しは出来ませんが、一生懸命頑張ります。

成田秀雄さん

先週、銀婚式を迎え、家内に感謝の意を伝えました。25年、あっという間ですね。

関川さんの卓話、楽しみにしています。

山田富義さん

11月8日、富士宮市は快晴、雄大な富士山を眺めて来ました。新潟は、大荒れでした。

関川さん、卓話ありがとうございます。

小出子恵出さん

粟ヶ岳が白くなりました。

関川さん、卓話を楽しみにしています。

樺山 仁さん

すっかり冬の気配が近づいて来る今日今頃です。

寒さで体調に気をつけましょう。

本日の関川会員の卓話に期待しております。

吉井直樹さん

寒くなりました。カゼをひかないように注意しましょう。

関川さん、よろしくお願ひします。

若槻八十彦さん

風邪が大はやりです。皆さんもお気をつけください。

斎藤弘文さん

五十嵐晋三会員が会長を務めるシンワなかよし会のゴルフコンペで、素晴らしい商品をいただきました。

渡辺勝利さん

新竹城中RC来訪時の写真を頂戴し、ありがとうございます。

明田川賢一さん

関川さん、卓話ガンバってください。私も眠らないようにがんばります。

中林順一さん

関川さんの話、楽しみにしていましたが、ごめん、早退します。

小越憲泰さん、 船越正夫さん、 中村光一さん

五十嵐昭一さん、会田二郎さん、 高橋 司さん

渡辺 稔さん、 米山智哉さん、 渡辺良一さん

丸山行彦さん、 歸山 肇さん、 松永一義さん

関川会員、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

11月14日分 ￥35,000

今年度累計 ￥538,000

卓 話

通じて平和



関川 博 会員

入会をお許しいただいて、早一年となります。昨年、入会と同時に「卓話」をするようにとのお話があり、ほぼ同期入会の4名は顔を見合わせ何をお話したらよいのか？水曜日の度に話し合ったことを思い出します。並み居る先輩方を前に徳のある話や気の利いた話しも思いつかず、単刀直入に先輩におたずねすると会社紹介をしてはどうかと、ご指導いただきました。しかし30分会社紹介では申し訳ないと思い季節柄の話であればよろしいのではないかと考え、時は冬…。例年にないドカ雪に…。稚拙ながら文言を考えながら順番を待ちながら、時は過ぎ窓から見える風景は満開の桜。まだお誘いはなく、ひょっとして忘れられているのか不安になった夏。今年の夏は暑く長く…。書き出した文章も使用することなく季節は一巡し紅葉真っ盛りの秋となりました。

さて、前置きはこの辺にして本題に移らせていただきます。その前に一言。

伝統と格式のある三条ロータリークラブへご推薦いただきました斎藤会頭に感謝いたします。そして入会の許可をいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。初めは見るも見えず聞けども聞こえず…。日ごろ会社では私を叱る人も指導する人もおりませんので、諸先輩たちと交わす一言一言に緊張感もっている自分に気づきその緊張感が最近では心地よく、例会が楽しみになっております。「人は人でしか磨けない」「心は心でしか磨けない」それを学びました。ありがとうございます。

それでは、会社を紹介させていただきます。

「会社は何をしているの？」小さいながら製造メーカーですから、製品を製造し販売するのですがその製品が一般的なものではない「環境試験機」ですので、多くの人は首を傾げられます。温度と湿度を設定どおりに出来る箱。と説明するも、それが何なのか？説明するにも非常に苦慮いたします。例えば、冬の北海道をイメージしてください。部屋の温度はプラス25℃外はマイナス20℃。携帯電話を掛けながら部屋から外へ出た瞬間温度差45℃しかも、吐く息で湿度90%の携帯電話は凍りつき最悪故障するかもしれません。実際は故障などしません。上空8000フィートを飛行する飛行機はマイナス55℃から数十分で地

上へ着陸します。滑走路は夏なら60℃はあるでしょう。車輪は出るかでないか着陸しないとわからないと言うことはありません。そうです、開発現場では温度と湿度の実験や試験を行っています。当社はその環境条件を作り出す機械を開発製造している日本でも数少ない一社です。

現在は、環境試験機メーカーですが、略歴を申し上げますと創業は1938年に島津製作所から気象観測装置の製造販売で独立し、気象庁と共に歩んでまいりました。1963年に気象庁に検定槽を納入したことをきっかけに学校の理科室や官公庁の研究室で使用する乾燥機や温度水槽などを製造する企業へ変わり、その折にご縁があった新潟に工場を新設いたしました。よく企業の寿命は30年と申しますが当社も気象観測機器で30年、学校理化学機器で30年そして環境試験機メーカーで今後につながってまいります。当社のコア技術である温度と湿度の知識と技術は扱う製品が変わっても74年間変わっておりません。

本日は商品や会社を単純にご説明するより今日現在の取り組みや企業としてのマインドに重きをおいて説明させていただいたほうが良いと考え原稿を書きましたが、「これは、営業でも使用できる!!」と、タイトルは会社案内ですが中身は経営者としてのポリシーとマインドを書き記しました。卓話のチャンスから産まれたパンフレットですのでこのチャンスに改めて感謝いたします。

温度、湿度の試験を行う「環境試験機」は一部上場の一社が市場の半分を占有しており多くは標準品を販売されております。大手がやらない仕事をやりたいということと、開発の現場が求めている事を合算すると、お客様の「困った」を解決するカスタマイズ製品にたどり着きました。今では、「温度湿度の事ならいすゞに相談しなさい」と仰っていただく某電気会社や、某自動車会社からリピートやご紹介で一点ものを製造販売しております。特に「安い、早い、壊れない」そして、営業もサービスも動きが早いと言われる活動を心がけています。お客様も幅広く、薬学・自動車・電気電子・食品・建築と温度湿度の実験試験がある業界すべてが対象となります。しかし、同じ電気産業でも携帯電話を一台だけ試験をする要求から冷蔵庫を丸ごと入れて人が実験槽に入り試験を行うなど要求は多種多様です。しかも、電力事情が問われる今日昨今ですので大は小を兼ねると言う考え方から、必要などころに必要な大きさと更に必要最低限と言う考え方に変化しております。当社は2000年に節電モデルを市場にリリースいたしましたが、

当時は節電より大電力大容量が一般的で受け入れられませんでした。しかし、2005年にチョモランマ登山する登山家を社員に持つ某電機メーカーより「地球温暖化が進んでいるCO2を削減する装置開発をしてほしい」と依頼され、今までの半分の電力量を合言葉に2007年みどりシリーズをリリースいたしました。

カスタマイズ製品も同じ設計思想で製作しておりますので、業界一節電モデルが奇しくも東日本大震災以降の節電対策で注目されております。

「人と地球に優しくありたい」

このキーワードが、社会が求める企業づくりのヒントとなりました。社会が求める企業にならなくてはならない。それには、社会が必要とする人と商品と活動が重要です。とりわけ、社員が人として成長しなくてはなりません。私自身も未熟ですから、社員とともに成長したいと思っているしだいです。人の成長は単純に知識や経験だけではなく心の成長を



ISUZU PRODUCT HISTORY



VTCR-1000-2T TWIN

TWIN SERIES

みどりシリーズのフラッグシップモデル「TWIN」シリーズを発売。
省電力をさらに追求し、全く新しい発想で生まれたモデルです。
みどりシリーズ初の産業用恒温器もラインナップに加わりました。

2011



TPAC-240-40 TWIN

省電力モデル「みどりシリーズ」を発売。「緑の地球を守りたい」をコンセプトに、従来品の電力消費半分を目標に設計されました。
現在では小型恒温器だけでなく、環境試験機や大型の恒温器もラインナップしています。

2007

環境試験機



強制循環式恒温器
VTEC-18



環境試験機
TPAC-48-20/120-20

恒温器「フォーミュラシリーズ」発売。当時の従来品と比べて破格の省電力を達成。現在の主力商品の一角を担っています。

2002



フォーミュラシリーズ
VTR-115

培った温度と湿度のノウハウをもとに、大型恒温器を「産業用恒温器」と名付け、環境試験機も構造をリニューアル。市場を次第に産業界へ転換していきます。

2000

理化学機器



産業用恒温器
VTRL-1000-2T



環境試験機
TPAF-800-20



1970

高度成長期の学校・官公庁向けの理化学機器を多数製造し、総合科学機器メーカーとして発展していきます。

1963

気象庁の検定槽として大型試験槽を導入。



気象庁検定の試験槽

1938

創業。日本国内の気象観測の礎を作りました。



1938年製
自記寒暖機

重んじております。頭は余計なことを色々考えるものです。考えすぎて思わない方向へ進むことも多々あります。ところが、心が命ずるままに行くと意外とスムーズ。それには、素直な心で正義で相手の目線で活動してこそです。当社では、心が感じる仕掛けづくりを大切にしております。必要以上マニュアルは作らない。社員同士のメールは禁止。両手で受け取り両手で渡す。人と人のふれあいを大切にしております。そして、「ありがとう」と言う一言につながることを目的にしております。

社業以外でも工業規格を作成するメンバーであったり、地域へ貢献できる活動に参加したりと、企業の大きさより、よりやれることの大きさが重要と考えております。そして、拡大より永続を理念として、いつまでも「元気で笑顔」の会社になりたいと思っております。

本日は、卓話のチャンスを頂戴しありがとうございます。つたない話でしたがご清聴ありがとうございました。

人に求められ、地球に優しい製品作り

地域のため、業界のため、日本のため、そして世界のために求められる企業でありたい。

激変する時代の中で必要とされている試験環境・性能へのご要望も多種多様かつ複雑化しています。私たちメーカーの使命はそんな社会から要求される製品作りを行うことです。

導入事例

社会に求められる

電子機器、自動車を始めとする産業界は急速な進化を遂げておりますが、我が国が他国の追従を許さない要因として、品質の良さと耐久性が優れていることです。特に、温度・湿度の変化または耐熱耐湿は、性能も左右する重要な試験です。当社では、創業以来温度湿度一筋に様々なノウハウを蓄積してまいりました。「お客様の困った！」のお役に立ちたい。一台一台丁寧に対応したい。世界が追従できない「品質、耐久性、こだわり、知恵」は日本企業だからなせる技。そんなお手伝いがわずかながらでもできることを誇りに思っております。



製作事例



人に求められる

当社の強みはお客様だけの特別な1台仕様、カスタマイズ品の製作です。ここ数年で新規開発の信頼試験に対する要求事項の複雑化による特殊な形や仕様での装置の需要が非常に高まっています。当社では設計から検査まですべてを社内一貫製造で行い、低価格かつ迅速なご提案や製作を可能にしています。

デザインにこだわり、安全で使いやすい製品「変わってはいけないカタチ」を貫きながら、限りある資源を最大限有効利用かつ高性能な製品「変わらなくてはならないもの」を追求し、人に、社会に求められる製品作りを目指しています。

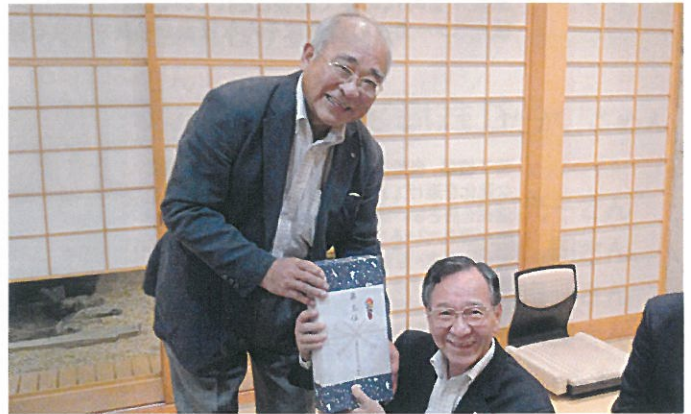
地球に優しい

当社は兼ねてより地球環境に優しい製品作りを目指してきました。2007年より発売した「みどりシリーズ」は従来機種に比べ電気代を50%削減した革新的な省電力モデルです。標準ラインナップだけでなくカスタマイズ品、新規開発品も電力負荷削減の想いを込めた製品作りを目標としています。

三条ロータリークラブゴルフ同好会 第62回大会

ゴルフ同好会恒例のゴルフ大会が、11月9日(金)下田城カントリークラブで開催されました。

優勝 丸山 行彦
準優勝 佐野 勝榮
第3位 熊倉 昌平



次週例会 11月28日 「地区大会報告」

次々週例会 12月5日 「年次総会」

杉山幸英 会長

